

まちづくり瓦版

～うつくしま、まちづくり推進レポート～

Vol.72 令和2年11月18日発行

奥会津地域 土木施設

観光資源化調査モニターツアー

奥会津地域は、道路整備、河川改修やJR只見線復旧等の大規模な整備など、電源開発に次ぐ規模の事業が展開されております。また、発電ダム等の歴史的な土木構造物も多い地域です。

このたび、人口減少や過疎化が進行する奥会津地域の活性化対策として、JR只見線全線再開通と連携して、土木施設を観光資源として活用する調査モニターツアーを実施しました。

【実施日】

令和2年11月7日（土）～8日（日）の2日間

【場 所】

只見町、柳津町、三島町、金山町内地域

【内 容】

通常ではあまり体験出来ない土木作業やJR只見線沿線のビューポイント等の見学、立ち入ることのできないダム施設内部の現場体験を通し、観光資源としての特性や移動行程等の確認を行いました。

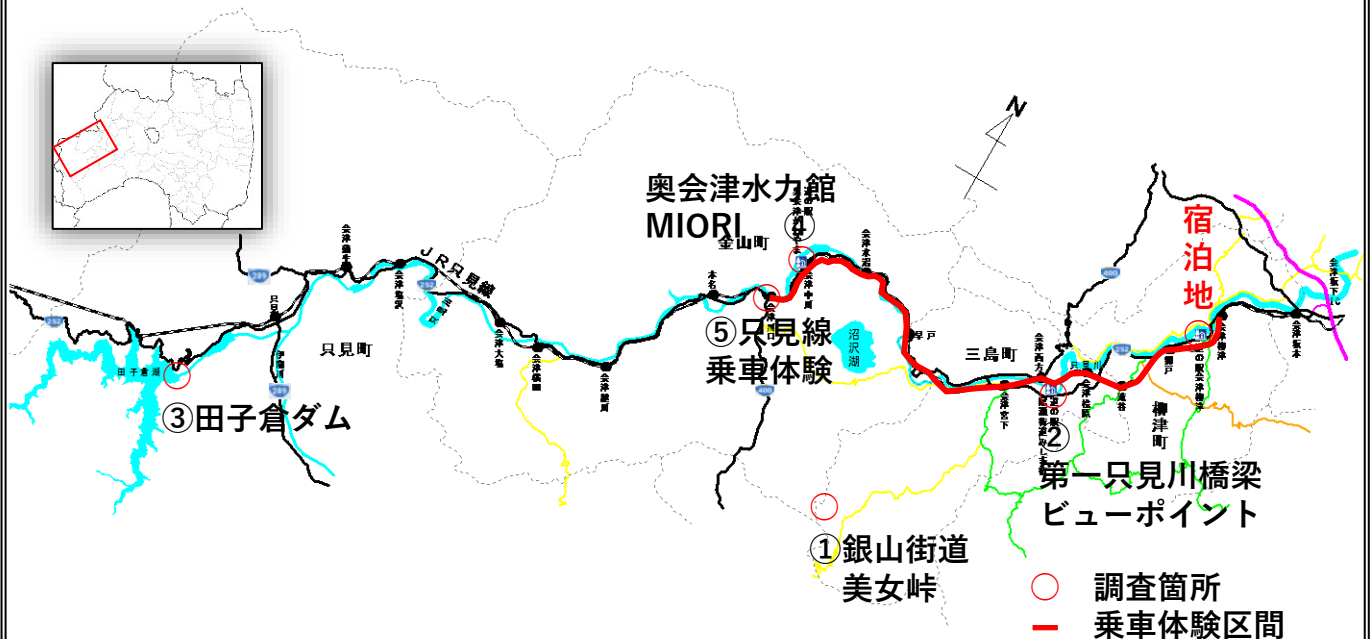
モニターツアーでの施設見学や体験、日程、費用等についてアンケート結果をもとに分析を行い、旅行会社等での新規の商品造成に役立ててもらうものです。

【参加者】

県内の15歳から60歳までの10名（男性2名、女性8名）
（ホームページで募集）

【調査箇所】

- ① 銀山街道（県道小林・会津宮下停車場線）美女峠（三島町）
- ② JR只見線第一只見川橋梁ビューポイント（三島町）
- ③ 田子倉ダム（只見町）
- ④ 奥会津水力館「みお里 MIORI」（金山町）
- ⑤ 只見線乗車体験（会津川口駅～会津柳津駅）



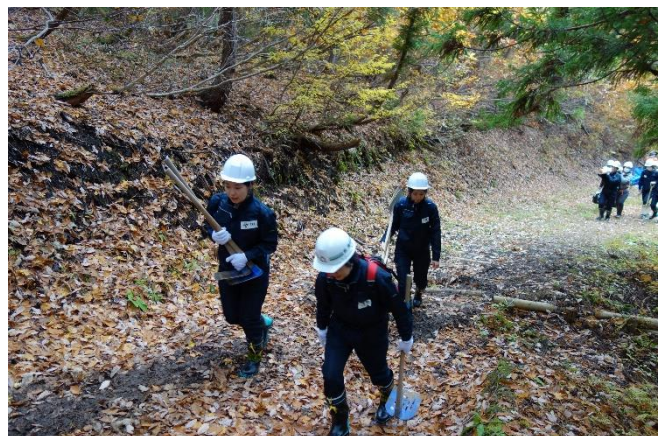
① 銀山街道（県道小林・会津宮下停車場線）美女峠（三島町）

美女峠（びじょとうげ）は、福島県奥会津の三島町間方（まがた）地区と昭和村野尻地区を結ぶ峠であり、県道小林・会津宮下停車場線に指定されているものの車は通り抜け出来ず、歩くことのみ可能な道です。文字どおりの美女・高姫伝説が存在し、峠には高姫清水があり、後述する姫の父目指知親（めさしともちか）の石塔（墓）も残っていると伝わっています。現在、歩く県道としての整備が本格化し、銀山街道ロングトレイルの区間として利用されています。

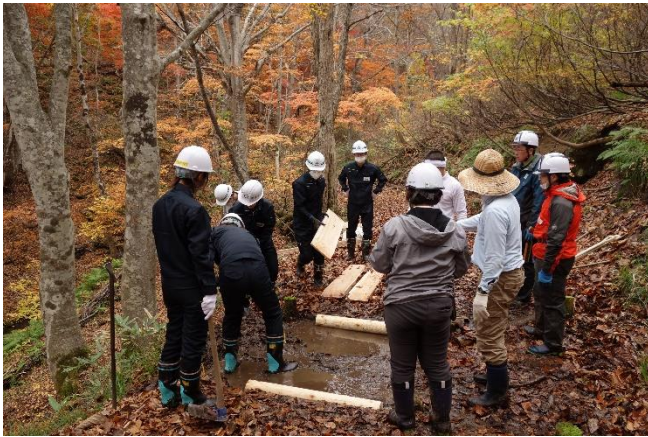
今回は、この県道を「道普請」により参加者全員で昔の工法で修繕し、休憩所として使用するベンチ等も製作しました。



▲作業現場まで1時間程度県道を登りました。



▲現場で使用する道具や資材も運搬しました。



◀横断水路に木橋を架ける作業を行いました。

▶ベンチを置く場所を水平に整地しました。



◀転落防止用の柵を支える丸太杭を打っています。奥では休憩するベンチを製作しています。

▶作業が完了して全員で記念撮影をしました。



📄 アンケート結果 📄

- ・ 観光地巡りより体験型の方が記憶に残りやすい。
- ・ 登山経験はあっても、道具を持ったり丸太を担いで山に入るのは初めてで新鮮だった。
- ・ これまで経験したことがない事ができて、みんなで完成させたことも達成感があった。
- ・ 里山の自然について学ぶことができた。
- ・ 自然と共生しながら皆で作り上げることによって、自然と見ず知らずの方と仲良くなれたことは、今の世の中では貴重な体験だと感じた。

② JR只見線第一只見川橋梁ビューポイント（三島町）

道の駅尾瀬街道みしま宿の近くにあるビューポイントから、JR只見線第一只見川橋梁を走る列車を撮影しました。



▲タイミングが合えば、橋梁を渡る列車を見ることができます。



▲列車通過時刻表があるので、通過の時刻に合わせて撮影することができます。

📄 アンケート結果 📄

- ・ 絶景でサイコー。
- ・ 只見線イコール第一橋梁のイメージがあるが、その他にも見てみたい。
- ・ 紅葉の景色もきれいで、電車も見れてうれしかったです。
- ・ ビュースポットがあることを初めて知りましたが、本当に『ビュースポット』でした。

③田子倉ダム（只見町）

昭和36年11月に総出力38万KWで当時、日本一の出力を誇る発電所として運転を開始し、現在は、発電機の更新工事により、総出力40万KWの発電所となり日本の一般水力として二番目の出力を誇る我が国を代表する水力発電所を見学しました。



▲発電所の概要について、J-POWERの職員の方に説明をしていただきました。



▲高さ約100mをエレベータで1分30秒で降下し、発電所へ監査廊で移動しました。



▲発電所内部へは点検作業中のため入れませんでしたでしたが、発電機は4台あり、カラフルな絵柄で春夏秋冬が表現されているとの説明がありました。



◀ダム天端からの田子倉湖の様子。貯水池の湛水面積は約10km²で有効貯水容量は東京ドーム約300杯の37,700万m³です。

📄アンケート結果📄

- ・ダムの内部を説明、見学させて頂いてとても貴重な体験でした。
- ・J-POWERさんが話していただいた内容がとても興味深いものでした。
- ・福島の水力発電が上位にランクインしていて驚きました。

④奥会津水力館「みおり MIORI」（金山町）

アートや映像など多彩な展示を通じて水力発電の仕組みや只見川水系における電源開発の歴史、水力発電をはじめとする再生可能エネルギーの活用に向けた取り組み、そして奥会津地域が持っているさまざまな魅力を発信します。そして観光客の増加など地域の活性化に少しでも貢献することで奥会津地域の皆さまに愛され、誇られる施設を見学しました。



◀入り口左側に、本名発電所で60年間稼働した水車ランナの6枚のブレード（羽）の1枚がオブジェとして実物展示されていました。

▶館内は7つのエリアに分かれており、水力発電の仕組み以外にも地域の発表・交流スペースとして企画展示室などもありました。



📄アンケート結果📄

- ・とても綺麗な施設で水力発電のことを学んだり素晴らしい写真や絵画を鑑賞することができた。
- ・木のあたたかみを感じた。
- ・ダム of 仕組み発電の仕組みなど工夫展示があると良い。
- ・水力発電を理解する為に、ちょうどよいボリュームのコンテンツでした。
- ・上映の中に「奥会津の暮らし」があったのですが、このような暮らし体験をツアーに入れたらとてもおもしろいだろうなと思いました。

⑤只見線乗車体験（会津川口駅～会津柳津駅）

最後はいよいよ只見線に乗車！車内からは紅葉した山々や雄大な只見川の景色を楽しみながら、只見線第一只見川橋のビューポイントなどを車内から眺めながら楽しい時間を過ごしました。



▲会津川口駅での折り返し運転中の只見線。



▲早戸の霧幻峡付近の只見川（只見線の車窓から撮影）。

📄アンケート結果📄

- ・あらためて乗る機会がないので良いと思います。
- ・沿線ぞいの家は昔ながらの家屋が多かったなので。その辺を歩いて回るのもステキだと感じました。
- ・お二人のスタッフの細やかな説明が良かった。（十人柄も）

📄編集後記📄

今回の調査では道普請による作業体験、土木施設のビューポイントや普段入ることのできないダム内部を見学しました。

参加者の意見等により、ただ土木施設を眺めるだけでなく、実際に歩いて体験したり、その施設の歴史的背景等を知ることが土木施設の観光資源化には重要な要素であることが確認できました。さらに、普段見ることができない貴重な体験も効果的であることが分かりました。

今回の調査を基に、奥会津地域土木施設の観光資源化に取り組んでまいります。

土木部メールマガジン登録随時受付中!!!

土木部メールマガジンでは、土木部の取組みや情報を定期的に発信しています。最新号のメール配信を希望の方は、下記により登録をお願いします。

これまでに配信したメールマガジンについては、土木企画課のホームページ（<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025a/doboku-mm.html>）からご覧いただけます。

メールマガジン（無料）の配信をご希望される方は

【土木部メルマガ希望または、解除】
をお書きのうえ下記アドレスまで
メール送信して下さい。



doboku_mailmagazine@pref.fukushima.lg.jp
土木企画課(システム担当) 024-521-7886

【まちづくり瓦版 発行元】
福島県土木部まちづくり推進課

TEL 024-521-7511

FAX 024-521-7956

e-mail machizukuri@pref.fukushima.lg.jp

URL <http://www.pref.fukushima.jp/machi/>